

萩生川・小白川事業説明会を開催しました

前号でお知らせしていた萩生川・小白川の改良復旧に係る事業説明会を開催しました。はじめに、県の担当者が事業の計画・設計、今後のスケジュールについて説明を行った後、設計図面をご覧いただきながらご意見・ご質問をお受けしました。お忙しい中、出席いただきありがとうございました。

○小白川(6月13日)

■小白川公民館において24名の参加を頂きました。

■主な意見

- ①河川工事中は、大巻橋付近の県道は通れなくなるのか。
→ 段階的な施工を行うことで、県道を止めずに工事を進めていきます。
- ②河川の流れをまっすぐにすることで流れが速くなり危険にならないのか。
→ 落差工等を設置し、川底を安定させるような対策をあわせて行う計画です。
- ③農業用水の揚水機場について、水槽や小屋は移設になるのか。出水前にあったブロックを設置してほしい。
→ 水槽や小屋は元の位置で使用する計画です。ブロックについては、川底の安定のため必要な箇所を設置していきます。
- ④とにかく早く復旧してもらいたい。
→ 設計、用地調査、用地取得、工事を一部並行して進めることで、できるだけ早い完成を目指していくので、ご理解とご協力をお願いします。



小白川事業説明会の開催状況



小白川的设计図面の確認

○萩生川(6月15日)

■中部地区公民館において12名の参加を頂きました。

■主な意見

- ①川底を下げるということだが、弥五郎橋下流の取水堰に支障はないのか。
→ 取水堰の箇所は、原形復旧区間のため川底は下がりにません。
- ②弥五郎橋はいつ復旧するのか。
→ 橋の前面の護岸は県で復旧し、その後、道路を管理を管理する飯豊町で復旧する予定です。
- ③吉祥寺橋付近の計画はないのか。黒沢橋付近に土砂が堆積しているので浚渫してほしい。
→ 吉祥寺橋付近は、別事業での対応を検討しています。土砂の堆積については、現地を確認して対応します。
- ④二反田橋上流の平面形状は変わらないのか。水管橋より上流の蛇行部をまっすぐにしてもらえると安心できる。
→ 右岸側の地盤が高いため、平面形状を変更することは考えていませんが、大きく被災した箇所にあった落差工を上流に移設するとともに、右岸側の一部を拡幅して河川断面を大きくする計画です。



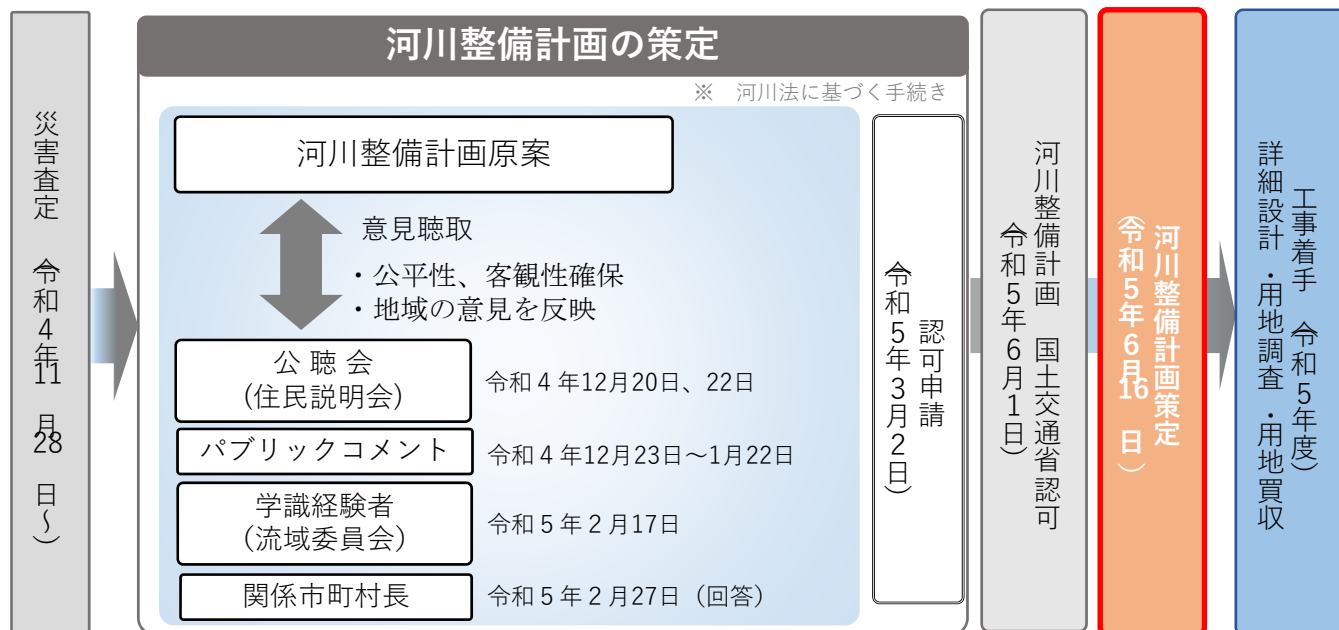
萩生川事業説明会の開催状況



萩生川的设计図面の確認

「一級河川最上川水系置賜圏域河川整備計画 (知事管理区間)」を変更しました

菟生川・小白川で改良復旧を進めていくには、河川法に基づき、最上川水系の河川整備計画に、その整備内容を位置づける必要があります。このため、昨年12月に公聴会を開催し広く皆様からご意見を頂いた後、学識経験者からの意見聴取などを経て、国土交通省へ認可申請を行ってまいりましたが、このたび6月1日付けで正式に認可を受け、6月16日に河川整備計画を変更しました。



関係図書は、山形県のホームページでご覧いただけます。

https://www.pref.yamagata.jp/documents/4102/okitama_henko_230616.pdf

梅雨期及び台風期における防災体制について

6月11日頃に東北地方南部が梅雨入りしたことを踏まえて、西置賜河川砂防課では、梅雨期及び台風期における防災体制の確認を行いました。

管内で「大雨警報」や「洪水警報」、「土砂災害警戒情報」が発表された際は、24時間体制で当番の職員が監視業務にあたります。

また、昨年発生した災害箇所において、大型土のう等による応急復旧を実施した箇所については、順次点検・補修を行っています。お気づきの点がありましたら、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。



梅雨期及び台風期の防災体制確認状況

■発行■ 〒993-8501 山形県長井市高野町二丁目3番1号
山形県置賜総合支庁建設部西置賜河川砂防課 (TEL:0238-88-7334・7335)

菟生川 小白川 通信

検索



「菟生川・小白川通信」は、山形県ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。